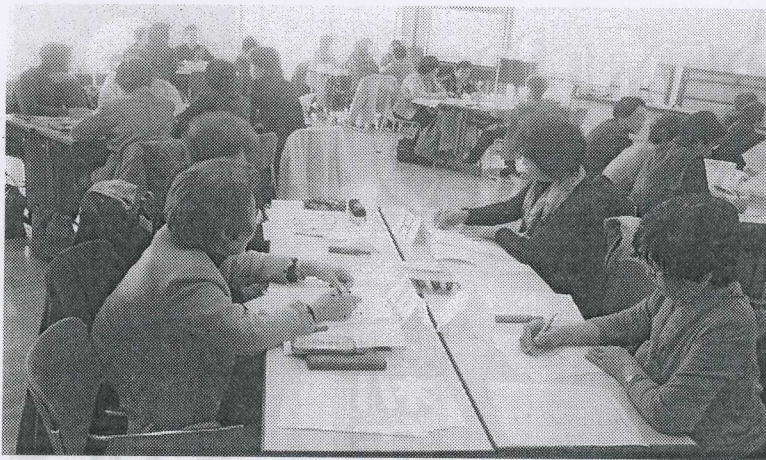


# 第5回研究専門委員会

## 自ら一歩踏み出して

やれでやる、やる、でやる、

「平成23年度大阪市地域女性団体協議会(市女性会)研究専門委員会」の第5回目が12月7日、大阪市立男女共同参画センター(クレオ大阪中央)において開催された。参加者は前回と同様、各区会長・副会長36名、矢田貝喜佐枝市女性会副会長の司会で始まり、吉村八重子市女性会会長から「研究専門委員会も、今日で早くも5回目を迎えて最終回になった。この学習効果を地域で実践」からの活動に活かす」R



いよいよ最終回。参加者全員熱心に学ぶ

活用するためには、今後どのようになっているか、2月にもう一度総まとめを学習したいと思っている。

皆さんは、地域リーダーとしての自分の立場を自覚できたと思うので、今後はしっかりと活かし、無にしないようにお願いする」とあいさつがあった。

e・楽・習・次世代につながる女性会(一)解決編。講師は(株)ライフキャリアデザイン・アンジェイツ代表取締役の森野和子氏。



### 研修概要

- ★はじめに
- 前回提出した「こんなリーダーになりたい」の意見ごとでグループ分け
- (1)協調性、(2)信頼、(3)慕われる、(4)話し合い/聴く。
- (1)グラドルルール(受講の際の約束ごと)の再確認と名札づくり
- (2)今までのふりかえり
- ★総合ワーク「アイデア共有、悩み解消!!」
- △テーマ「〇〇なりリーダーをめざして」
- それぞれのグループごとに、自分たちが選んだ「なりたいリーダー」について話し合う。
- ①役割を決める(タイムキーパー・発表者・書記・司会者)
- ②役割について確認する
- ③テーマについて全員

ホワイトボードなどを使って書き出すことは、皆の意見を「見える」形にするので話し合いが進みやすい。司会者や発表者などの役割は、偏らずに誰もが場数を踏むことが大事。

めざすリーダー像は人それぞれ。どんなリーダーをめざすのかは、優先順位を考えながら、皆で全員参加し、納得して合意の上で決めること。

リーダーとして、成果を出すことが求められるかもしれない。そのため、自分から行動すること、できることから始めると良い。めざすリーダー像を、できるだけ具体的に突き詰めてイメージすることで、具体的な行動が取れる。

グループワークで出てきた「家庭円満」や「健康」は大切なことであるが、だからといってリーダーになれるだろうか。あくまでも元気に活動するための基盤であって、リーダーになるために必要なことは、他にもあるのではない。

とはいえ、短時間でこれだけのことが出せたのは、今までの学習があった。4つのテーマに分かれているが、実は「なりたいリーダー像」は、共通しているのではない。

★これからの「女性

会」を考える。会として必要なこと、わたしができること、やってみたいこと。

(1)大阪市の男女共同参画形成の担い手として、女性会が取り組むテーマ

(2)自分自身がやってみたいテーマ

それぞれについて各自がふせんに書き出し、同じテーマごとに貼る出す。

★明日への「宣言」!

「わたしらしいリーダーになるために」

5回の研修で、どんなことが身についたか、地域でどのように活かせるかをふりかえらる。

これからどう行動しようと思っか、リーダーとして明日からやることを「明日から〇〇します」と宣言する。

「やれでやる、でなくやるでやる」、他人から言われるのではなく、自分からやりたいことを実行する。人と比べることなく、とりあえず小さな一歩から踏み出すこと、場数を踏むことが大切である。5回の学習で「宣

### 少しずつやってみよう

#### △研修を受講して▽

「今日は集大成、使えたいのに残っているものをもって帰れるように」と森野講師のことばにドキリとしたが、最後に、「あとは実践のばにドキリ」といわれて、また「〇〇なりリーダーとドキリ!」

「なりたいリーダー」は、「そんなリーダーになるためには」を、皆で書き出しているうち、今日までの研修がわ

「言」ができるのは、自分の中に既にタネがあつて芽が出た、準備は既にできているはず。

今日が終わりでない。

女性会が良くなる、皆さんが女性会を良くする担い手。全ては「これから」である。是非とも実行を!

以上で第5回市女性会研究専門委員会は定刻に終了。次回は総まとめとして2月に開催予定。